

日本共産党 和歌山市公議員

# ひめだ高宏ニュース

No.1197

18.4.17

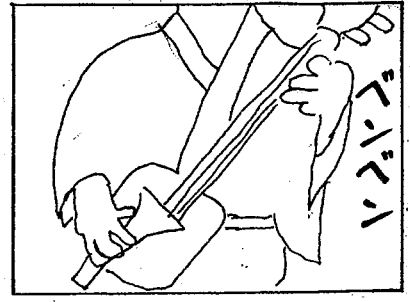
## 財務省、今度はセクハラ疑惑

森友問題で、国有地の8億円値引きに何の根拠もなかったことがハッキリしたにも関わらず、誰も責任をとらない財務省。今度はトップの福田事務次官が女性記者にセクハラ発言。次官の首声が開かれたいにも関わらず、女性の声が出ていないのをいいことに発言そのものを全否定したのはビックリ!!

## 保育所・幼稚園アンケート結果

和歌山市は市立の保育所21か所と幼稚園13か所を16か所の認定こども園に統合する計画(下表)です。日本共産党市議団は2017年3月29日に、計画を知らせるビラを配り、アンケートに取り組みました。170人の回答結果を知りたい方はご連絡ください。その一部を紹介いたします。回答者は20代・8%、30代

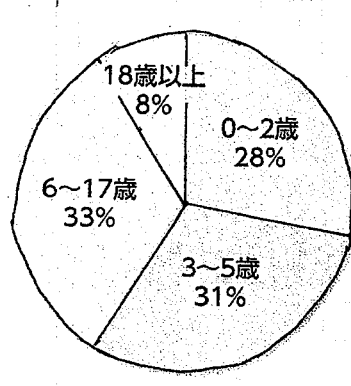
## フワフワの人々



### 市立保育所・幼稚園の統合廃合計画

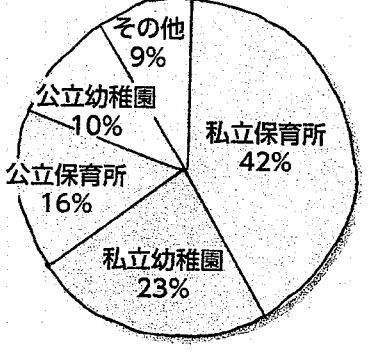
認定こども園へ	閉園	サテライト園
(幼) 西和佐 (保) 紀本岡 山	(幼) 津和原 (保) 西和原 山	(幼) 雑賀崎 加太 中之島 山口前 山宮前 (認定こども園として当面継続は困難)
(保) 栄谷 梅見 西和佐	(保) 河西 川北 小倉 中之島	(幼) 新南宮 宮北 宮 山福 雑賀前 宮草

### 子どもの年齢

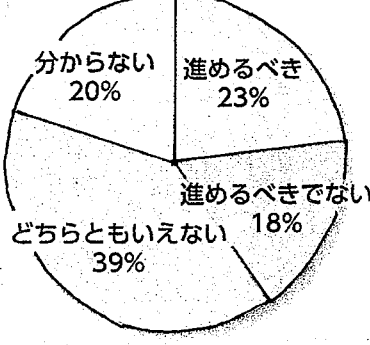


他59%、40代19%、その他14%でした。雇用状況や勤務形態も聞いています。

### 利用している、していた保育所・幼稚園



### 認定こども園の整備計画について



## 今週のフワフワの人々 (その143)

首相案件：殊勝ではナイ  
「○○のようで○○でないベンベン、××のようで××でないベンベン、それは何かとたがねると△△、△△」落語の演目から生まれた大喜利「ベンベン」は義太夫をまねて太棹三味線を弾くカッコウをします。  
和歌山大学の獣医学部新設をめぐる2015年4月に和歌山と今治市の職員に「本件は首相案件」と柳瀬首相秘書官(当時)

しが指摘していたこの面会記録が真側に残されていたことが判明。首相秘書官が自治体職員と会うことは極めて特殊であり、首相秘書官の発言は首相の意向そのものだと指摘もあります。柳瀬氏は「記憶の限りでは会ってはいない。だからそうした発言はしていない」と言い、アベ首相は「部下を信じている。何も関係していない」と言っています。



ひめだ高宏

# 回答が多かった意見や要望

- 1. 保育料について
  - ・保育料が高く何のために働いているのか分からない
  - ・延長料金への不満
  - ・第3子が無料になったが毎月引き落とされ月に返還される。初めから無料にしてほしい。
- 2. 保育所・幼稚園の実
  - ・増やしてほしい
  - ・保育時間を延ばして
  - 3. 認定こども園について
    - ・整備計画を初めて知り驚いた
    - ・多くの園の閉園が不安
    - ・認定こども園が増えることほしくない。
    - ・(大規模化への不安)
    - ・人数が多くなると事故や感染症が心配
    - ・発達のつまづきを見落とす
    - ・してしまふのではないかと遠くなることへの不安
    - ・遠くなること不便
- ・できるだけ生活圏内において地域の中で暮らしてほしい
- ・遠くなること延長料金に関わってほしい
- 4. 保育士の増員と処遇改善
  - ・保育士を増員して質の良い保育を
  - ・育休の悩みを相談するがゆっくり話す時間がない
  - 5. その他
    - ・4月以降の入園が難しい
    - ・兄弟姉妹が同じ園に入れないようにしてほしい

## 「こんなことは松坂みち子です」

先日ひさしぶりにイオンへ行きました。暑かったので日陰を求めて、初めての場所に車を止めました。出入り口は「E」ということだけはしっか

りと頭を叩き込みました。買い物済ませ車に戻ろうとしたとき、「E」が見つかりません。この辺かなと思っていくと「F」。全体図を見てやっと見つけた。「E」へ。ところが外を見た奥気がなんかちがう。後先考えず回水右をしよう。結局入ってきたところのルートをそのまま逆に

たどることで、「あった！」車にたどり着きました。初めからそうしておけばよかった…。予定外に歩いて運動ができたと思えばよいのか、悩んでいます。



松坂みち子 (県議予定候補)

## 潮流

18. 4. 14 熊本  
 大地がさけ、山はえぐられる。つぶれた家、土砂に埋もれた集落。城や神社が崩れ、線路や道路は寸断され、新幹線は脱線する。28時間のうちに2度も震度7の激震に襲われた熊本・大分の地震から2年がたちます▼

ほとんどの住宅が被害を受けた益城町では、まるで町全体が傾いているような感覚を。阿蘇を回ったときは爪痕の大きさに自然の猛威をまざまざと。取材のたびに被害のすさまじさを痛切に感じました▼広い範囲に及んだ被災地では復旧工事が進みますが、被災者の疲労の色は濃い。いまだに4万人近くが避難を強いられ、心身の不調による関連死や孤独死も増えています。生活再建の遅れは格差をまたらし、被災者を苦しめています▼熊本の地を紙の間に閉じ込め、取り調査(ゆめ)の現在の

生活に不満や不安があること答えた被災者は5割超。1年前とほぼ変わっていません。中身をみると健康や仕事で不満や不安を感じている人が急増しています▼災害列島、日本。いまも大分では山崩れにのまれた不明者の捜索がつづき、島根では震度5強の地震が起きた。突然日常が絶たれた人びとが各地で相次ぐ現状を水を支えて暮らした直すとともに、今後の被害を防ぐ手だてを講じる。切に求められる行政の役割です▼今日、福島の地元紙やテレビ局が報じた県民世論調査の結果は政権に衝撃を与えました。内閣支持率がわずか半ばまで落ち込んだのです。心あらずで被災者に寄り添わない政治への怒りは、このまま受けつづいて。

43216222  
 熊本県議会議員選挙  
 松坂みち子